

廃校教育CAMPという場から学ぶ 「教師はどこで育つのか？」 —専門性を深めるための「越境学習」という学び方—

教員養成課程では、大学・実習校・学校と、学びの場の多くが学校教育の内側にあります。専門性を深められる一方で、ものの見方が一つのコミュニティの中で固まりやすいという面もあります。本セミナーでは、学校心理学を専門とする大阪教育大学の四辻伸吾氏が、子どもの変化に「気づく」教師の力がどのように育つのかをお話しします。続いて、教師が「実践共同体」の中でどのように育つのかを学習論から整理し、複数のコミュニティを行き来する「越境学習」が、教師の専門性をどう深めるのかを考えます。

事例として、教員・教育関係者・学生が肩書を置いて語り合う「廃校教育CAMP」の実践を取り上げ、学校教育の外に出る経験が学びに変わる条件を分析します。

後半は、参加者が自分の所属するコミュニティをふりかえり、在学中にできる越境の一步を考えます。メインの対象は教員養成課程・教職課程の学生です。



2026
12.10 (木)
15:00~17:00

四辻 伸吾

大阪教育大学総合教育系 特任准教授
公認心理師・学校心理士SV 博士（心理学）
元大阪教育大学附属平野小学校副校長
いじめ問題をはじめとする学校心理学を専門とし、子どもたちが安心して過ごすことができる学校現場の在り方について日々研究している。教師や保護者がいじめに認知することができる「いじめ感度」を高めることの重要性の発信に努めている。

及川 真央

廃校教育CAMP・一般社団法人Raise your Flag
廃校を舞台にしたさまざまな教育にかかわる人たちが学び合う「廃校教育CAMP」を企画・運営するワークショップデザイナー。地域・教育魅力化プラットフォームでは「地域みらい留学」の公立高校の支援及び中学生向けのプログラムデザインも行っている。

スケジュール

- (14:30~15:00 受付開始)
- 15:00~ 開会・趣旨説明
- 15:05~ 講義① 大阪教育大学 四辻伸吾氏
「『気づく』教師はどう育つのか 一学校心理学の視点から—」
- 15:30~ 講義② 廃校教育CAMP 及川真央
「教師はどこで育つのか —
実践共同体・越境学習と廃校教育CAMP—」
- 16:00~ ワーク「わたしの共同体マップ」
(所属するコミュニティを書き出し、その外にある場を考える)
- 16:25~ 対談・質疑応答
登壇者：四辻伸吾氏、及川真央
- 16:50~ アンケート記入
- 16:57~ クロージング

対象・定員等

- 教育委員会関係者、学校関係者、
大学生、一般の方
- ※教員養成課程・教職課程の学生がメイン
の参加対象者となります。
- 参加形式：対面（定員：100名）

会場・アクセス

大阪教育大学 天王寺キャンパス
みらい教育共創館 4階 402未来型教室

JR天王寺駅、地下鉄天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅下車、約650m
JR寺田町駅下車、約400m



申込方法

以下のURLもしくはQRコードより、申込みフォームに
アクセスしてください。

<https://forms.gle/yTtJGNVku57asj3w7>

申込期限

12月7日 (月) AMまで

(定員に達し次第締切り)

